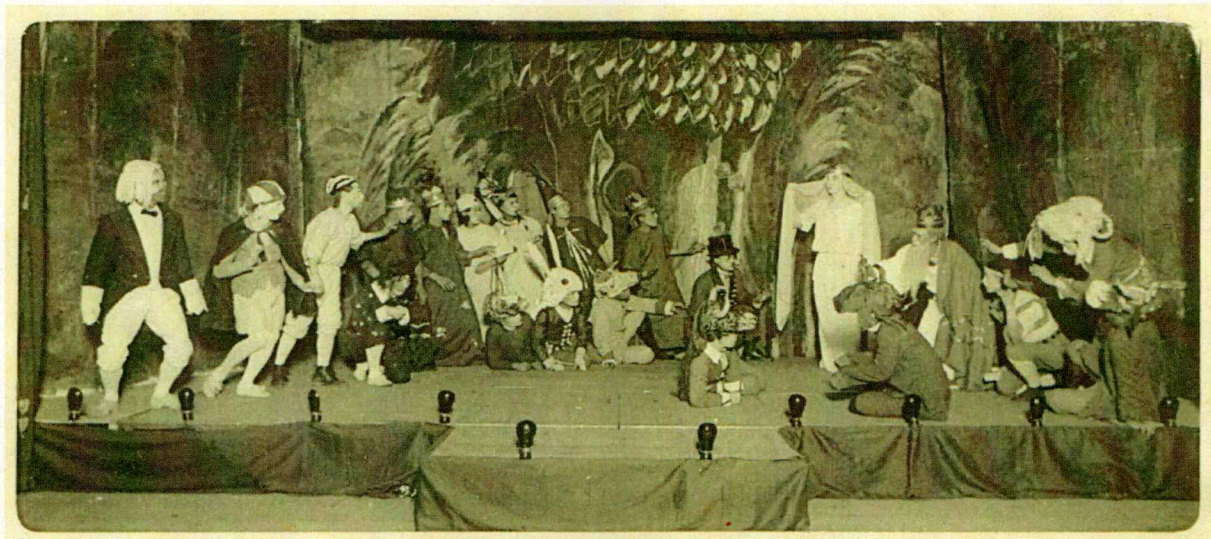


外国語への招待

2024年度



▲大正12年に行われたフランス語劇「青い鳥」。右端が小林多喜二、隣が伊藤整。



▲「商業英語通信規範（最新補遺版：1932）」
著者は本学3代校長の苫米地英俊先生。

小樽商科大学言語センター

外国語への招待

言語センター長 山田 久就

新入生の皆さん、小樽商科大学へようこそ。本学を選んで入学してくれた皆さんを大いに歓迎いたします。大学生としての新生活に不安を感じている面もあるでしょうが、同時に、新たなチャレンジに立ち向かう意欲も心の中で高まっているのではないのでしょうか。いろいろな困難が待ち受けているかもしれませんが、皆さんの若い力で立ち向かっていって欲しいと思います。

さて、皆さんがすぐに考えなければならない事の一つに、外国語の選択があります。本学では外国語科目として2外国語を必ず履修する必要があります。昼間コースでは7外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語)から2外国語を選びます。夜間主コースでは英語の履修が必須で、その他、3言語(ドイツ語、フランス語、中国語)から1言語を選びます。夜間主コースではスペイン語、ロシア語、韓国語を必修外国語科目として履修することはできませんが、昼間コースのスペイン語、ロシア語、韓国語を、第3外国語として、履修することができます。

大学生の国際スタンダードは2つの外国語を修得することです。7あるいはそれ以上の数の外国語から全ての学生に2言語の選択必修を課している大学は道内では本学以外見当たりません。これは、本学に創立以来伝わる外国語重視の伝統があるからです。

本学のモットーは「実学・語学・品格」です。なぜここに語学があるのかと言うと、本学は明治末期から世界に通用する商業人の養成を目的としており、語学は世界を舞台に活躍する人材にとって、なくてはならない道具だからです。このモットーに従い、本学は戦前から多くのネイティブ・スピーカーを講師に迎え、語学教育に力を注いできました。本学が輩出した二人の作家、小林多喜二と伊藤整が、小樽市民を前にしてメーテルリンクの『青い鳥』をフランス語劇として演じたのも、教養語学を重んじた本学の校風を体現する一風景でした。以来、社会科学系単科大学であるにも係わらず、「北の外国語学校」と呼ばれるほどの語学教育充実度が、ここでは維持されているのです。

では、外国語選択に話を戻しましょう。皆さんは最低でも2つの外国語を学ぶことになりましたが、

外国語教育を本学で担当している部門が言語センターです。

まず、皆さんは最初の2年間で、必修の2外国語(1年次生向けの「～語Ⅰ」および2年次生向けの「～語Ⅱ」)を修得します。

外国語の力をさらに伸ばしたい人は次のような科目を履修することができます。

英語では、商学科英語専修コース等に英語に関わる多彩な科目が開かれています。また、英語に関するテーマを扱うゼミも行われています。

英語以外では、3,4年次生向けの「上級外国語」(専門共通科目)が用意されていて、長年、6言語で提供しています。また、1年次生向けの基礎科目「外国語コミュニケーション」も外国語科目を補強する科目として開講されています。

さらに、外国語学習の集大成として、海外への留学も可能です。本学には現在17カ国・地域の23の協定締結大学に向けた学生派遣プログラムがあり、半年または1年の留学によって実際の異文化体験を享受する学生も少なくありません。

施設の点でも、本学は着実に進歩しています。LL教室2室、BL教室4室といった語学授業向けの教室の他に、言語センターには学生の自習用にマルチメディア・ライブラリーがあります。ここでは、外国(語)に関する豊富な資料を、AV機器やPCを備えた個人ブースで視聴することができます。音声教材、映画作品、ラジオやテレビ講座、英字新聞、多読・速読用の洋書、TOEICや各種検定試験等の問題集など、様々な資料・教材を揃えていますので、皆さん、入学後は言語センターのマルチメディア・ライブラリーをぜひ積極的に、総合的に活用してください。

現在、インターネットやSNSの発達によって、世界は狭くなり、いろいろな言語で書かれた、あるいは、話されている情報がいろいろなところに散らばっています。皆さんが複数の外国語を学ぶことによって自らの価値観を相対化し、世界に対する公正な判断能力を養い、グローバル社会のより良きプレーヤーになれることを願っています。本学はそんな皆さんを様々な場面でサポートします。

外国語への招待

目次 CONTENTS

| | |
|------------------|---|
| 外国語への招待 | 1 |
| 外国語の履修について | 2 |

昼間コース

| | |
|-------------|----|
| 英語 | 3 |
| ドイツ語 | 5 |
| フランス語 | 7 |
| 中国語 | 9 |
| スペイン語 | 11 |
| ロシア語 | 13 |
| 韓国語 | 15 |

夜間主コース

| | |
|-------------|----|
| 英語 | 17 |
| ドイツ語 | 18 |
| フランス語 | 20 |
| 中国語 | 22 |

外国語の履修について

昼間コース

昼間コースでは、入学前に、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語の中から2外国語を選ばなければなりません。英語以外の言語選択は抽選となりますので、必ず期日までに、本学 HP より履修志望を登録してください。

以下、英語とドイツ語を例に、外国語 I および外国語 II の履修方法を説明します。フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語の履修方法はドイツ語の履修方法と同じです。

●1年次では、英語 I の4単位とドイツ語 I の4単位、計8単位を履修します。

●英語 I (IA・IB・IC・ID) は、半期、週1回の授業で1単位の科目で、合計4単位が必要です。

入学直後にプレースメントテストを行い、レベル別(基礎、標準、発展)にクラスを指定します。必ず受験して下さい。(※ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、プレースメントテストは実施せず、別の方法でクラスを決定する可能性もあります。)

●ドイツ語 I (I-1・I-2) は、半期、週2回の授業で2単位の科目で、前期2単位、後期2単位の合計4単位が必要です。

●2年次では、英語とドイツ語のどちらか一方をIIAコース(4単位)、他方をIIBコース(2単位)として選択します。

英語をIIAコース、ドイツ語をIIBコースとする場合、英語が4単位、ドイツ語が2単位の履修となります。逆の場合は、ドイツ語が4単位、英語が2単位となりますが、いずれにせよ、2年次では計6単位が必要となります。

※ドイツ語とフランス語といった選択も可能ですが、時間割の同一時間帯に開講しているため、同一年度に同時履修することはできません。

※留学生については、日本語科目を外国語科目に振り替えることができ、例えば日本語と英語や、日本語とドイツ語のような選択も可能です。

夜間主コース

夜間主コースでは、英語は必修ですので、入学前に、ドイツ語、フランス語、中国語の中から1外国語を選ばなければなりません。言語選択は抽選となりますので、必ず期日までに、本学 HP より履修志望を登録してください。

●1年次の英語 I (IA・IB・IC・ID) は半期、週1回の1単位科目で、計4単位が必修となります。所属クラスについてはアンケートで希望をとり、抽選にて決定します。

●2年次の英語 II も同様に4単位 (IIA1・IIA2・IIB1・IIB2 各1単位) を修得しなければなりません。

●英語以外の外国語 I は、ドイツ語、フランス語、中国語から1つを選び、週2回の授業を受け、前期2単位、後期2単位、計4単位を修得します。

※昼間コースも夜間主コースも詳細については、入学後に配布される『履修の手引き』をご覧ください。

履修志望登録の方法

昼間コースも夜間主コースも下記本学 HP より履修志望の登録を行います。これをもとに抽選にて選択言語を決定しますので、期日までに必ず登録して下さい。

小樽商科大学言語センターホームページ

外国語への招待:<https://lang.otaruc.ac.jp/invitation/>
履修志望登録画面

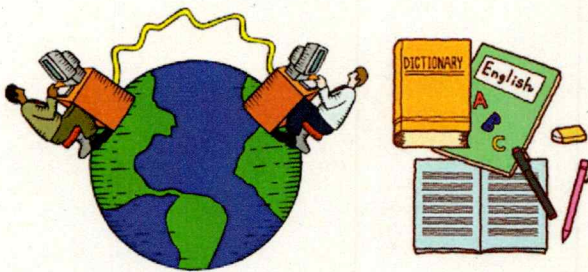
外国語への招待 →外国語選択フォームへの登録
→昼間コース(昼)/昼間コース(留学生)/夜間主コース(夜)/(該当するコースを選んで下さい。)

※登録時の注意事項

- ①新入生は受験番号と氏名を入力して下さい。
- ②昼間コースは第6志望まで、夜間主コースは第3希望まで、必ず選択して下さい。
- ③昼間コースの留学生は自分の母語を履修することは出来ません。また、上級日本語を履修しない、もしくは外国語科目に振り替えない場合は、必ず第6志望まで選択して下さい。
- ④3月26日(火)までに登録して下さい。
- ⑤結果は4月4日(木)に本学 HP 上で公開します。

近年、オーディオブック、外国語学習アプリ、ポッドキャスト、動画配信・ストリーミングサービス、SNS、オンラインゲーム等の普及により、クリックひとつで国内にいながら気軽に外国語に触れ、コミュニケーションがとれるようになってきました。同時に、在留・訪日外国人人口が増え、国内で日常や災害時に外国語での支援を必要とする人口が増えています。そのような現代において、もっとも重要な国際語の一つである英語が果たす役割は、非常に大きいといえます。英語を学ぶということは、英語圏の国々の文化や伝統を知ることにとどまらず、国際語としての英語話者(Users of English as a Lingua Franca)として実用的に英語を使う能力を身につけることを意味します。

英語のカリキュラムは、以上のような点を考慮して、英語のコミュニケーション能力を総合的に高められるようクラスが組まれています。また、毎年、短期語学研修生として多くの学生がアメリカやカナダ、オーストラリアなどに留学し、さらには、本学の協定に基づく交換留学生として、英語圏の国々に長期留学する学生もいます。



【授業の紹介】

1年次の英語科目としては、IA、IB、IC、ID（各1単位）が開設されており、英語を選択した場合には、それぞれ1単位ずつ計4単位を履修しなければなりません。2年次においても、各1単位の英語科目が開設され、うち4単位を履修するコースと2単位を履修するコースに分かれます。さらに英語を勉強したい学生は、このほかに英語上級

I・II・III・IVやビジネス英語I・IIなどの商学科科目を履修することができますし、英語と密接に関連した研究指導に所属することもできます。

1年次の英語は、コア・コースのIA、IB、さまざまな内容からなるIC、e-learningのIDに分かれており、それぞれ1クラスずつ履修しなければなりません。その中でIDはセルフ・アクセス・スタディのコースとして設定されています。IDのクラス履修者は、単位修得上、本学で行われているTOEIC IPテストを受験する必要があります。IA、IBおよびICには、標準クラスのほかに、「基礎クラス」と「発展クラス」が設けられていますから、自分の英語の力に応じて、クラスを履修することになります。

2年次の英語は、英語IIAとIIBの2種類に分かれています。IIAを選択した場合にはA1/B1、A2/B2、A3、A4のすべてを修得しなければなりません。IIBを選択した場合には、A1/B1、A2/B2に加え、英語以外の外国語のIIを4単位修得しなければなりません。

英語の教材は、小説、ドラマ、映画、言語、環境問題、外国事情、文化などに関する評論・エッセイ、さらに新聞、雑誌等の記事など、非常にバラエティに富んでいます。授業の進め方も、講読形式から、映画を利用したロールプレイやアフレコ、エッセイやジャーナルのライティング、さらにはコンピュータを利用した授業にいたるまで、多様な方法がとられています。授業の評価は、おおむね試験やレポート、プレゼンテーションの評定のほか、出席や授業への参加度などを含めて、総合的に判断して行われます。

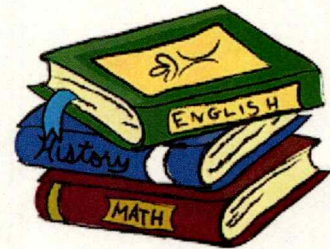
以上のような授業の中で、実際に使われている英語にできるだけ多くふれ、これまで中学校と高等学校で学んできた基本的な構文を再確認して整理し、語彙力を増強するとともに、リスニング、スピーキングやライティングの力を補強するよう努めていただきたい。さらに、語学は普段の努力が重要で、授業だけではなく、オンラインニュース、外国語放送の映画・ドキュメンタリーなど、TV・ラジオ・インターネット等を活用することも大切です。また、本学には多くのDVDやCD、コンピ

ュータを備えたマルチメディア・ライブラリがあります。授業に加え、これらを利用して自主的に努力を重ね、国際社会の一員として世界の検舞台で活躍しうるだけの語学力を身につけることも可能です。

英語にさらに強い興味をもち、英語教員を志望する学生のためには、教職科目（教員免許の資格を取得するための専門科目）とそれに関連した研究指導（ゼミナール）が設けられています。英語系の教職科目は、英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育法に関するもので、これらの科目を所定の単位数（ただし卒業所要単位には含まれないものもあります）だけ修めることによって、英語教員の道も開けます。以

下に、英語と密接に関連した科目を、配当年次別に表として挙げておきます。4年間にわたって、英語とあわせてこれらの科目も計画的に履修するとよいでしょう。

なお、商学部商学科には、英語の教員免許取得を主目的とした英語専修のコースが設けられています。商学科英語専修については、『履修の手引き』記載の案内を参照してください。



外国語科目以外の英語関連科目

| 配当年次 | 科目名 | 備考 |
|-------|-----------------|--------------|
| 1 年 | 言語・文学特別講義 | 基礎科目 2 単位 |
| | 基礎ゼミナール | 基礎科目 2 単位 |
| | 英作文 I | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション I I | 商学科科目 2 単位 |
| | 比較文化 I | 商学科科目 2 単位 |
| 2 年 | 英作文 II | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション II | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション III | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション IV | 商学科科目 2 単位 |
| | 比較文化 II | 商学科科目 2 単位 |
| | 比較文化 III | 商学科科目 2 単位 |
| | 比較文化 IV | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語学特講 I | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語学特講 II | 商学科科目 2 単位 |
| | 英文学特講 I | 商学科科目 2 単位 |
| | 英文学特講 II | 商学科科目 2 単位 |
| 3・4 年 | 研究指導 | 専門共通科目 12 単位 |
| | ビジネス英語 I | 商学科科目 2 単位 |
| | ビジネス英語 II | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語上級 I | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語上級 II | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語上級 III | 商学科科目 2 単位 |
| | 英語上級 IV | 商学科科目 2 単位 |

教職科目

| 配当年次 | 科目名 | 備考 |
|-------|-----------------|------|
| 1 年 | 英語学概論 I | 2 単位 |
| | 英語学概論 II | 2 単位 |
| | 英語学概論 III | 2 単位 |
| | 英文学概論 I | 2 単位 |
| | 英文学史 I | 2 単位 |
| | 英作文 I | 2 単位 |
| 2 年 | 英語コミュニケーション I | 2 単位 |
| | 比較文化 I | 2 単位 |
| | 言語学概論 | 2 単位 |
| | 英語学 I | 2 単位 |
| | 英語学 II | 2 単位 |
| | 英文学概論 II | 2 単位 |
| 3・4 年 | 英文学史 II | 2 単位 |
| | 英文学 I | 2 単位 |
| | 英文学 II | 2 単位 |
| | 英作文 II | 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション II | 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション III | 2 単位 |
| | 英語コミュニケーション IV | 2 単位 |
| | 比較文化 II | 2 単位 |
| | 比較文化 III | 2 単位 |
| | 比較文化 IV | 2 単位 |
| | 英語科教育法 I | 2 単位 |
| | 英語科教育法 II | 2 単位 |
| | 英語科教育法 III | 2 単位 |
| | 英語科教育法 IV | 2 単位 |

皆さん、入学おめでとう。小樽商科大学での勉学のうち、皆さんにとってまず最も目新しいのは、恐らく英語以外の外国語ではないかと思われます。ここではそのトップバッターとして、ドイツ語の紹介をいたします。

【日本とドイツ、そしてヨーロッパの中でドイツ】

ドイツ語はドイツ・オーストリア・スイス・リヒテンシュタイン、あるいはベルギーやルクセンブルクの一部で使用され、これを母語とする人口は約1億3000万人ですが、北欧・南欧・東欧・ロシアはドイツと緊密な経済・文化関係があるため、ヨーロッパでは英語に準じて広く通用する言語です。

さて日本に目を転じると、遠い国であるドイツの言葉が結構多く日常会話の中で使われているのです。日本語になったドイツ語、どんなものがあるでしょう？ アルバイト、これは身近なドイツ語のナンバーワンですね。他にもゼミナール、リュックサック、メルヘン、ワッペン、ワンダーフォーゲル、カルテ、ガーゼ、ゲレンデ、ヒュッテ、笑えるものではルンペンなんてものもあります。なぜ日本語にとってドイツ語はこれほど身近なのでしょう？

日本とドイツ。実はこの両国の関係は古く、明治時代初期から始まります。(江戸時代後期に日本で活躍したシーボルトは、政治的な理由から自らをオランダ人と称しておりましたが、実はドイツ人でしたので、その関係は更に古くなります。) 成立間もない明治政府は、近代国家形成をドイツ(正確にはベルリンを首都とするプロイセン王国)に学んだ点が多く、近代化に必要な諸学問について、また哲学や芸術の分野においても、当時最先端を走っていたドイツから多くを輸入したのでした。つまり、世界を知り、世界を表現するためには、ドイツ語を少しでもかじっておく必要があったのです。こうして日本の知識人の先達たちが、ドイツからたくさんの言葉を持ち帰ったわけです。

【ドイツ語学習のメリット】

では、現代のわれわれがこのドイツ語を学習する意味とは何なのでしょう。例えば以下のような3点が挙げられるでしょう。

1. 上に述べたように、ドイツは我が国の近代的学問の発展に多大な影響を与えた国です。戦後もまた、

ドイツと日本の両国は、経済、科学、政治、文化の分野において互いに重要なパートナーであり、共通の価値観を分かち合ってきました。ドイツ語を学ぶということは、わが国の過去と未来について思考することの大事な一助となるでしょう。

2. ドイツも中核となっているEU(ヨーロッパ連合)の理解にも役立ちます。EUは現在27カ国の加盟国と約5億の人口を擁する大きな政治的・経済的単位であり、今日かか問題を抱えているとは言え、EU抜きに世界の政治・経済は語れません。EUの中央銀行が置かれるドイツはリーマン・ショックからもすぐに立ち直り、ヨーロッパでは「ドイツの一人勝ち」と言われるほど強固な経済力を保っています。在職時に「世界で最も影響力のある女性」と呼ばれていたアンゲラ・メルケル前首相の政権は、難民保護政策に関しても注目されました。今後も政治面・経済面でのドイツの立ち位置に世界が注目するでしょう。

3. ドイツは福島原発事故の後、早々と脱原発路線を決定した環境先進国でもあります。未来のエネルギー政策は言うに及ばず、社会福祉、余暇利用、ジェンダー問題などについてドイツから学ぶべき点は多々ありそうです。

【ドイツ語とはどんな言葉？】

学者たちが持ち帰った言葉、ということでドイツ語には堅苦しいイメージありますが、そもそもドイツ語と英語は同じ言語から枝分かれした兄弟関係にあるので、英語を学んだ皆さんにとってドイツ語の文法を理解することはさして難しくないはずですが、発音は基本的にローマ字読み近く、英語とよく似た単語でも、発音は英語よりずっと簡単です。例を挙げてみましょう。

(D) Sie hat ein Buch. (ジーハットアインブゥッ)

= (英) She has a book.

(D) Das ist eine gute Idee. (ダス イスト アイネ グーテ イデー)

= (英) That is a good idea.

(D) Es ist kalt hier. (イェ イスト カルト ヒア)

= (英) It is cold here.

どうです？ 簡単そうでしょうか？ 勿論、実際の文章はこれほど単純なものばかりではなく、色々な語尾変化もありますが、数多くの練習をゆっくりとこなしていけば、恐れるには足りません。

【4年間の学習プロセス】

関連科目を組み合わせることで、効率的な学習を達成できます。

●第1段階（必修科目：ドイツ語Ⅰ）

1年次で履修する入門段階です。目標は基本的な語学能力の習得。ドイツ語の基本構造に加え、現代ドイツ語圏の生活・文化・社会の事情に触れながら4技能（話し、聞き、読み、書く）の総合力育成を目指します。

●第1.5段階（選択科目：外国語コミュニケーション）

「基礎科目」の分類となる選択科目で、希望者のみの履修となります。後期、週1回の授業によって必修の「ドイツ語Ⅰ」を補完するもので、主に会話力のアップに重点を置いています。将来ドイツ語圏への留学を考えている人には是非お勧めです。

●第2段階（必修科目：ドイツ語Ⅱ）

2年次のドイツ語Ⅱは2コースに分かれて履修します。週2回履修するAコースと週1回のBコースです。Aコースはドイツ語を集中して学ぶコースで、それなりのモチベーションと努力が要求されます。Bコースも週1回とは言え、1年次に学んだ基礎の確認から発展・応用と、ドイツ語力の堅実なレベルアップを図ることができます。

●第3段階（選択科目：ドイツ語上級）

学習意欲のある3~4年次生が対象。半期あるいは1年の学習によって更に上級の総合的語学能力の獲得を目指します。

●第4段階（協定大学での留学）

本学では、2年生以上を対象とした交換留学プログラム（本学協定大学のバイロイト大学・ウィーン経済大学・ベルリン経済法律大学で半年または1年の留学）が用意されており、生きた環境の中でコミュニケーション能力を磨くことができます。語学に限らず他の科目も履修でき、取得した単位は本学で認定可能です。国際化が加速する現在、学生のうちに異文化を体験することは将来の人生にとって大きな糧となるでしょう。参加を検討してみてください。成績優秀者には奨学金も支給されます。

学外の検定試験として、札幌では「ドイツ語技能検定試験（独検）」も行われます。大学での学習の合間に挑戦してみてください。

【ドイツ語Ⅰについて】

○授業回数：週2回（火・木）

○クラス編成：I-a、I-bの計2クラス

○クラス分け：教科書は2クラス共通ですので、授業内容に大差はありません。従って2つのクラスは学生番号順に振り分けられます。

【授業内容】

総合型の教科書を用いつつ、多彩な会話練習と文法練習を経て総合的なドイツ語基礎能力の育成を図ります。教室ではペアでの会話練習などを通して繰り返し練習していきますから、毎回の授業に積極的に参加していれば、自ずと語学力が身につくはずで、これに加えて、ドイツの風習や歴史について学んだりしてゆけば、今まで皆さんが知らなかったドイツ語の世界が徐々に目の前に開けてくることでしょう。

さて皆さん、コロナ禍が収まり、ドイツ語も履修したなら、一度ドイツを訪れてみてください。ドイツ全土に点在する美しい古都、落ち着いた大学町、古城をつなぐ街道とライン河、現代都市工学の粋を結集して変貌を遂げた首都ベルリンなど、見るべきものがたくさんあります。また4回のワールドカップ優勝を誇るドイツはサッカー大国。プロサッカーリーグ「ブンデスリーガ」では日本人選手も活躍しています。旅行でも留学でもドイツ語を使って外の世界に出てみましょう。ドイツ語を履修した皆さんに、ヨーロッパの門は大きく開かれることでしょう。



ベルリン大聖堂

英単語、3つに1つはフランス語

皆さんが学んできた英語は、ドイツ語やオランダ語と同じゲルマン系の言葉。対するフランス語はラテン系で、イタリア語やスペイン語の仲間。ところが、これらを比べてみると、系統の異なる英語とフランス語が、一番よく似ています。次はいずれも同じ意味なのですが、フランス語はどれでしょう？

- 1) I arrive at the station at six o'clock.
- 2) Ich komme um sechs Uhr am Bahnhof an.
- 3) Ik kom om zes uur aan op het station.
- 4) J'arrive à la station à six heures.
- 5) Arrivo alla stazione alle sei.
- 6) Llego a la estación a las seis.

上から順に、英、独、蘭（オランダ）、仏、伊、西（スペイン）なのですが、皆さんは迷いなく4番を選んだのではないのでしょうか？ 逆に、2番のドイツ語など、同じゲルマン系なのに、全然、英語に似ていませんよね。

実を言うと、英語はフランス語の影響を強く受けた言葉で、1/3の単語はフランス語に由来しています。上の文でも arrive, station, six は言うまでもなく、最後の heure も英語の hour にあたる単語です。

かつてイギリス王はフランス語を話していた

大昔のイギリスでは、古ドイツ語に近いアングロ・サクソン語（古英語）が話されていました。ところが、今から1000年ほど前、フランスのノルマンディ公ギヨームが、英仏海峡を渡ってイギリスを征服しました。この出来事により、フランス人がイギリス王となるとともに、王の話す古フランス語が、英国貴族の間に広まっていきました。

他方、一般庶民にとってフランス語は「外国語」

であり、彼らは昔ながらの古英語を話し続けました。こうして英国では、およそ300年もの間、二つの言葉が併存する状態が続くこととなります。最終的にイギリスは、ジャンヌ・ダルクで有名な100年戦争終結を機に、英語の方を公用語に選びますが、その英語には、フランス語の影響が色濃く残されていたわけです。

これを示す例として、動物名 (sheep, ox, pig) と食肉名 (mutton, beef, pork) の区別がありません。語源的には、前者が本来の英語であるのに対し、後者は古いフランス語の moton, boef, porc から来ているのです。すなわち、苦勞して動物を育てる庶民の古英語が動物名として残り、裕福に動物を食する貴族のフランス語が食肉名となったわけです。

だが、やっぱり英語とは異なる。

とはいえ、英語とフランス語は異なるふたつの言語です。例えば、先の「J'arrive à la station à six heures.」ですが、arrive は「アライヴ」ではなく「アリーヴ」と発音します。同じく station は「ステーション」、six は「スイクス」であって、英語式の発音ではまったく通じません。

また、文法に関しても、フランス語の方が複雑です。例えば、先の文を「あなた」「私達」「彼ら」に代えると、主語だけでなく、動詞のかたちも変える必要があります。

| | |
|-----------------------------|---------------|
| Vous arrivez à la station. | (You arrive) |
| Nous arrivons à la station. | (We arrive) |
| Ils arrivent à la station. | (They arrive) |

面倒くさいと思いますか？ でも、英語が単純になりすぎた（昔はかなり複雑だった）のであって、皆さんが他の言語を選んだとしても、難しさは変わりありません。とするならば、これまでの英語学習が大いに活かせるフランス語を選んでみてはどうでしょう？

話者数は世界5位、32カ国の公用語

さて、次は日本フランス大使館の HP に紹介さ

れているフランス語のランキングです。

| | |
|-------------|-------------|
| フランス語話者数 | 5位 (3億人) |
| フランス語公用語国数 | 2位 (32カ国) |
| フランス語学習者数 | 2位 (1億3千万人) |
| フランス語の外交力 | 2位 |
| フランス語のビジネス力 | 3位 |
| フランス語のメディア力 | 4位 |

現在、フランス語を話す人は約3億人で、中、英、西、アラビア語に次ぐ、世界で第5位の言葉です。また、フランス語を公用語とする国は32カ国に上り、英語の58カ国には及ばないものの、堂々の第2位となっています。

さらに、米国レイジアナのようなフランス語通用「地域」も含めれば、その数は約50にも達します。やはり英語(約80)には敵いませんが、第3位のアラビア語(約27)や第4位のスペイン語(約21)に比べ、フランス語の「地理力」は相当なものといえるでしょう。

ヨーロッパ: フランス、ベルギー、スイス、モナコ、他

アフリカ: カメルーン、コートジボワール、セネガル、
アルジェリア、チュニジア、モロッコ、他

北・中米: カナダ東部(ケベック)、米国のレイジアナ、
ハイチ、アンティル諸島、他

太平洋: ニューカレドニア、仏領ポリネシア、他

アジア: レバノン、シリア、ベトナム、カンボジア、他

もっとも、このようにフランス語が世界中に広まった裏側には、フランスによる植民地戦争の歴史があるわけですが、これについては授業でお話ししましょう。

「世界で最もパワフルな言葉」第3位

大使館HPのランキングに戻りましょう。昔から得意だった外交は2位、ビジネス分野では3位、メディア言語としての使用度は4位となっています(学習者については、スペイン語の方が多いと統計もあります)。

これらの順位は、世界経済フォーラム(WEF)

の報告書(2016)に基づくものですが、そのWEFは、フランス語を総合的に評価して、「世界で最もパワフルな言葉」の第3位としています(Best 10は、英、中、仏、西、アラビア、露、独、日、ポルトガル、ヒンディー)。

加えて、現在、フランス語話者は明らかな増加傾向にあります。特に人口爆発を起こしているアフリカ諸国では、2014年から2018年のわずか4年間に、フランス語話者が17%も増えました。世界全体でみても10%近い伸びを示しており、今後、フランス語は、ますますパワフルになっていくことは間違いありません。

フランス語の授業について

1年次のフランス語Ⅰは、アルファベットから始めて、「聴く・話す・読む・書く」の基礎を手ほどきします。初めて習う言葉ですから、間違うのは当たりまえ。モジモジせず、大きな声で堂々と間違え、先生に直してもらいましょう。それが上達の早道です。

2年次のフランス語Ⅱは、基礎から発展への段階です。皆さんの興味に応じ、週2回のAコースまたは週1回のBコースを選択して履修します。どちらを選ぶにせよ、1年次同様、間違いを恐れず、積極的に授業に参加しましょう。

3,4年次にもフランス語の学習を続けたい人には、「外国語上級(フランス語)」を用意しています。この科目は8単位まで履修可能なので、その気になれば、4年間、一貫してフランス語を学び続けることが可能です。

あるいは、文科省後援の「実用フランス語技能検定試験」に挑戦し、履歴書の資格欄に記載してみませんか? 2年次終了で3級、さらに頑張ると3,4年で準2級(以上)を修得することも、十分に可能です。

さらに、本学では、提携校のエクスマルセイユ大学への交換プログラムが用意されています。短期と長期があり、短期は2ヶ月程度のいわゆる語学留学です。長期は地中海の近くで1年間を過ごす交換留学です。学生のうちに異文化を体験しておくことは、きっと将来への大きな糧となることでしょう。

【中国、日本、中国語】

中国は人口 14 億人を超え、国土面積は日本の約 25 倍をもつ隣国です。2010 年に GDP は世界第 2 位となり、圧倒的な経済規模を持つ超大国へと成長しました。そして日本にとって最大の貿易相手国でもあり、数多くの日本企業が中国に工場やオフィスを構えています。日本を訪れる外国人観光客を見ても、中国圏からの旅行者は半数以上を占めています。グローバル化が進み国境の壁が低くなるほど、距離の近さが強い影響力をもつようです。

世界地図を眺めてみればわかるように、中国の国域はヨーロッパに匹敵する広がりをもっています。こうした広大な地域において、膨大な人々の間で共通語として使われているのが、現代中国語です。この現代中国語は、学校教育で用いられ、テレビやビジネスなど公共の場で使われていますので、中国のみならず世界各国に暮らす華僑の間でも広く話されているわけです。

【中国語の学習について】

言語の面では、私たちが用いている漢字はごく一部の文字を除いて、すべて中国語より取り入れたものです。今では意識することさえないかもしれませんが、日本で用いている漢字・漢語の多くは、近代以前の文章語（漢文）に基づいています。一方、現在中国で日常的に話されている現代中国語は、近代以降に言文一致運動を経て生まれた、話し言葉が中心になっています。

中国で使用される漢字は簡略化された「簡体字」で、日本の漢字とは字体の異なるものがあります。たとえば「漢字」の「漢」は“汉”となります。とはいえ簡体字の多くは、字形の近さによって日本語から意味を推測することができますし、発音も日本語の音読みに近いものが少なくありません。ただし、中国語には漢字 1 字ごとに日本語にはないトーン（声調）があり、高低アクセントが付いているという特徴があります。声調は 4 種類あり、同じ音節であっても声調の種類が異なるだけで全く意味の異なる単語になりますから、発音の練習を十分におこなう必要はあります。

しかし中国語学習者にとっては幸運なことに、今の日本はかつてないほど中国語の学習環境が整っています。今や中国系の人々を見かけない日の方が少ないほどです。本校の留学生も半数以上が中国人です。観光地やアルバイト先、通学の電車で生の中国語を耳にすることも珍しくありません。好むと好まざるとに関わらず、今や中国語は日本で使う必要性のきわめて高い言語であると言えるでしょう。



【授業の紹介】

本学の中国語教育は、中国語 I（1 年生担当）、中国語 II（2 年生担当）、中国語上級（3、4 年生担当）の 3 段階に大きく分けることが出来ます。また、選択科目として外国語コミュニケーション（1 年生担当）などを開講することがあります。

新入生の皆さんが最初に履修するのは、中国語 I です。本学では 5 クラス開講しています。中国語を履修することになった皆さんは、a～e のクラスに分かれて週 2 回の授業を受けることになります。授業は中国人と日本人の教員が週 1 回ずつ担当します。ネイティブ教員の授業では耳と口を鍛えてコミュニケーション能力を高め、日本人教員は日本人学習者の苦手な点を適切に指導します。履修単位は前期と後期に分かれていますが、基本的に全員前期と同じクラスで履修してもらいます。ただし、前期の単位を取得できなかった場合は、他の外国語と同様に、後期の履修は認められませんから注意してください。

次に、一般的な授業の内容について紹介しましょう。開講当初は各クラスとも発音の訓練を中心とした授業となります。発音練習の繰り返しは退屈に感じるかも知れませんが、中国語の学習は「発音に始まり発音に終わる」と言われています。特に最初から声調を正しく発音するのは難しいものですが、教員や CD の発音を聞き、口を大きく開けて何度も練習してください。そうすれば必ずきちん

と通じる中国語を話せるようになるでしょう。発音ができるようになったら基本文型を学び、会話の練習を行ないます。中国語を用いた教員との応答練習はもちろん、学生同士のペアやグループで練習を行なうこともあります。

このように授業では学生の皆さんが練習することを重視しますから、出来るだけ欠席しないようにしてください。そして積極的に教室で発音や会話の練習に取り組んでください。また、分からないことや疑問に思うことがあればどんどん質問してください。皆さんの能動的な学習意欲が、上達を早める原動力となるでしょう。

中国語Ⅱでは、中国語Ⅰで習得した基礎をもとに、より実践的な会話力や読解力、聞き取りの能力の向上がはかられます。中国語の多様な表現や、中国語特有の考え方を学び、より深く中国を理解し、中国人と交流できるよう、学習の積み重ねが進められます。

そして皆さんは本学において中国語上級まで履修することが出来るわけですが、この中国語上級では、更に実践的で実用的な中国語能力の習得を目指しています。具体的には中国の人々との高度な会話能力の育成を目標に置き、教員と学生の皆さんとの交流をより密にして授業を進めています。この上級中国語で目指している能力を身に付ければ、中国に長期滞在して仕事や学問を進めていく道が開けることでしょう。

なお、本学は東北財経大学（遼寧・大連市）、蘭州大学（甘肅・蘭州市）と台北商業大学（台湾・台北市）と提携を結んでおり、毎年留学生の派遣や交換を行なっています。また、台中科技大学（台湾・台中市）とも交流があります。本学に留学中の中国人留学生が私たちの授業を手伝ってくれることもあります。皆さんには短期留学と長期留学の制度がありますから、日本の教室内で勉強するだけでなく、海外に飛び出して学生時代にしかできない体験に挑戦してみてください。初めに書いた通り、いま中国は日本に最も「近い」外国です。費用も安いですし、気軽においしいものが食べられます。現地で会話できるようがんばってください。

このほかに言語センターのマルチメディアライブラリには中国語語学図書（NHK中国語講座、中国語検定対策ほか）とCD、中国映画・ドラマのDVDなども備えていますから、活用して楽しく勉強してください。

【中国語の使い方】

授業で中国語の学習を始めることができたなら、それを契機として中国語を様々な方法で活用してください。語学は、その言語を勉強することだけが目的ではありません。習得した語学力を駆使して、何かを実現することに意味があります。仕事に生かすにせよ、旅行をするにせよ、それぞれ違った目標があるはずですよ。単位取得だけが目標の人には、授業は退屈な時間になることでしょう。より充実した時間になるよう、常に目的を考えながら勉強を進めて欲しいと思います。

前に述べたように、いまの日本は中国語との接点にあふれています。課外活動やアルバイトの時に、習った中国語で会話をする学生も今や少なくありません。

このほか、中国語履修者から志願を募り、地域貢献活動も行なっています。これまでに中国語で「小樽観光案内」を作ったり、小樽市立文学館や小樽総合博物館を中国語化するプロジェクトに取り組みました。今後とも教室で学んだ中国語を活用できるよう、教員や中国人留学生と一緒に楽しくチャレンジしてくれる人を待っています。

また、中国語圏では動画が積極的にインターネットで公開されており、映画・MTVはもちろんのこと、テレビになると録画のほかに、生放送でほとんどの番組を見ることができます。こうした絶好の環境を利用し、自分の興味のある分野を見つけて中国語を勉強してください。そして2年間取り組むことになる外国語を、将来に結びつけてもらいたいと思います。中国のことをすべて好きになれるというのはありません。中国でも日本でも好きなおところ、嫌いなところがあって当たり前です。身近で文字が似ていても、考え方で近いわけではありません。だからこそ中国語の学習を通じて、中国をより深く理解してもらいたいと思います。なぜなら各民族の考え方は言葉にこそよく表れているからです。



【上海外灘夜景】（外灘：ワイタン、外灘：Wàitān）中国上海市中心部の黄浦区にあり、世界でも有名な観光エリアです。

【スペイン語 地中海への扉】

日本では地中海の文化もスペインもあまりよく知られていません。見当違いな誤解はされているようですけれど。これはわが国の独特な近代化と無縁ではありません。独特な近代化とは何かと言えば、それはヨーロッパの長い歴史の中から日本が近代化を決意した 19 世紀後半のみに支配的だった潮流だけを学び、うわべだけこれに同化して、一刻も早く先進国の仲間入りをしようとしたという意味です。そのとき見落されたものはいくつもありますが地中海文化はそのひとつです。

この文化は一言で言えば「ゆとりの文化」です。急速に近代化をしなくてはならなかった途上国といえる日本にはこのような文化は無用のものでしたし、またそのようなものを視野に入れるゆとりもなかったのです。スペインの哲学者オルテガによればこの南の文化は「人間の理想とは樹木であり、汗水を流すことなく、ほとんどすべてのものを大地、太陽、風が与えてくれる豊かな大地のみに許されるぜいたくな文化」ということになります。この文化ではミュージカルでなくオペラが、ハンバーガーのようなファスト・フードでなくコース料理が、コーラでなくオルチャータ（アーモンド飲料）が、まぜもののカクテルではなくワインが、集団でなく個人が、仕事でなく休暇が、スピードでなくのどかさが、銀行家や起業家より芸術家や詩人がはるかに尊ばれます。ある北欧の学者は「地球上をことごとくアメリカ文化がおおいつくそうとしても唯一地中海文化だけはこれに対抗しうるだろう」と述べていますが一端の真実をついているでしょう。

スペイン語にはこのような地中海文化が鏡のよ

うにくっきりと映しとられています。スペイン語はわが国の文化が長らく見すごしつづけていた地中海文化への扉となります。またもちろん、ヨーロッパの歴史上の大国、先進国のうちで、日本で最も知られていない国スペインを知る扉ともなります。ルネサンス、バロックの時代に世界に君臨し、いまなおその光輝を失わない国であることを知るでしょう。扉を開けば、地中海の風が吹きこみ、スペインの光に出会えます。そしてまた広大なラテン・アメリカへの扉ともなります。

【5 億人、21 か国、国際語】

ローマ帝国のことばラテン語に起源をもつスペイン語は、現在では 4 つの大陸をあわせて 21 の国と地域、約 5 億人の母語です。この言語を習得すれば 21 か国語を習得するのに等しいわけです。国連、欧州連合の公用語でもある国際語です。最近では欧州連合の国々だけでなく、スペインとの経済的結びつきが強くなっている東欧諸国でもスペイン語を学ぶ人たちが増えつづけています。ヨーロッパでスペイン語を学ぶ人が多いのは、スペインが長らく他の国々の憧れの地であったためもあるでしょう。19 世紀、特にロマン主義の時代に、スペインは各国の文学者たちに靈感を与え、バイロンやアンデルセンを初めとする多くの「北の人たち」が地中海のほとりのこの国を訪れ、素晴らしい詩や紀行文を書き、今日なおつづくヨーロッパ人のスペインへの憧れをかきたてました。イギリス人やドイツ人は隠退したら、あるいはできれば今すぐにでも、スペインで暮らすのが夢なのです。彼らの理想の生活は、日本人が憧れる「英国式」でも「ドイツ流」でもなく、「地中海風」もしくは「スペイン風」の暮らしなのです。それは彼らにまじってスペインで休暇を過ごせば、すぐわかることです。ヨーロッパで「英国式」や「ドイツ風」といえば、「実用本位」とか「質実剛健」を意

味し、日本で考えている「オシャレ」とか「エレガンス」とはほど遠いものです。

スペイン語はあらゆる肌の色、さまざまな国籍の人々がコミュニケーションに使う国際語です。英語だけが国際語ではありませんし、英語というチャンネルだけで出会う世界は決してそれほど広いものでもありません。日本で日本人が素朴に信じている、あるいは信じこまされているほど英語はどこでも通じる便利なことばではないのです。ヨーロッパ（大陸）に住んでいるアメリカの方が日本人よりはるかに英語が通じないことを、つまり英語の限界を実感しています。特にスペインやイタリアのような地中海の国々ではまず通じないと思った方がよいでしょう。「ここに来るならば私たちのことばを憶えなさい」というのが彼ら地中海人の発想です。「国際化」や「国際人」を語るなら、英語だけでなく、少なくともあとひとつくらいは他の文化圏の言語を習得するのは必要なことです。思いがけない視野が開けてきます。地中海もくっきり見えるでしょう。

【教室をこえて】

大学で学んだことは社会に出て役に立つかどうかというのはしばしば耳にする議論です。外国語は間違いなく役に立ちます。マドリッドやバルセロナで出会う日本人（外交官、企業の駐在員、自営業者、建築家など）は、その多くが大学で何らかの形でスペイン語を学んだ人たちです。彼らは毎日を大学で学んだことを役に立てて生きています。ラテン・アメリカの各地にはさらにそういう人たちが数多くいるでしょうし、スペイン語で学んだ上で他の言語へさらなる飛躍をしていく人も少なからずいるでしょう。もちろん日本国内でもスペイン語を使う場面はあります。これから皆さんが学ぼうとすることは教室だけで終わらないはずで

スペイン語はIとIIの授業で、2年間かけてい

わゆるスペイン語文法などの必要な知識を学ぶ中で、発音、会話なども学んでいきます。また、選択科目として外国語コミュニケーションや上級の授業も設置しています。上級スペイン語の終わるころには、人によってはIIの終了するころでも、スペイン語の新聞、雑誌は読めるようになるはずで

す。図書館にはスペインの雑誌が入っていますので挑戦してみてください。もちろんインターネット上でも読めます。また政治、経済、社会、文化についてのアカデミックな文章も本人の文化や教養次第で読みこなせるはずで

す。スペインや中南米の文学者たちは、セルバンテスからボルヘスやガルシア＝マルケスまで、我が国の作家たちとは異なって、読んで理解されるための平易な文章を書きますから、彼らの作品を読むこともできましょ

う。

最後にバリエッホ・ナヘラという著名な学者がスペイン語を学ぶ外国人（つまりわれわれです）に送ったメッセージを引いておきます。「スペイン語は決して習得するのにやさしい言語ではないが習得したときに大きな喜びを与えてくれる数少ない言語のひとつである。」スペイン語を本気で学びたい学生を募ります。新入生向けの必修授業は週二回で2クラス、70人程度の募集となります。適当にやっ

て楽に単位を取りたいという学生にはまったく不向きです。

なお2023年のセルバンテス文化センターのレポートによると、国際語としてのスペイン語人口は相対的に増加傾向にあります。母語話者はほぼ5億人、世界の人口の6.2%で、全世界では学習者の数も2300万人以上と報告されています。母語、第二言語、外国語としては5億9900万を超える人々によって話され、規模では英語、中国語、ヒンディー語に次ぐ言語となっています。

【ロシア語の紹介】

ロシア語について考えたときに最初に思い浮かぶのは、エキゾチックな文字ではないでしょうか。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語ではラテン語からの流れを持つラテン文字（ローマ字）を使っていますが、ロシア語では教会スラブ語からの流れを持つキリル文字を使います。ロシア語で使われている文字のアルファベットを小文字で示すと、а, б, в, г, д, е, ё, ж, з, и, й, к, л, м, н, о, п, р, с, т, у, ф, х, ц, ч, ш, щ, ъ, ы, ь, э, ю, я の 33 文字です。一見奇妙に見えますが、ロシア語で使われているキリル文字も英語などで使われているラテン文字も基本的にはギリシア語で使われているギリシア文字に起源を持ち、多くの共通点があります。ロシア語の а は英語の a、ロシア語の о は英語の o、ロシア語の к は英語の k、ロシア語の м は英語の m に対応し、ほぼ同じです。しかし、ロシア語の н は英語の h ではなく、英語の n に対応し、ロシア語の р は英語の p ではなく、英語の r に対応します。また、アルファベットの並ぶ順番も英語とロシア語には多くの共通点があります。新しい文字を覚えるのは、楽しいと思う人と、面倒だと思う人がいると思いますが、全部で 33 個しかありませんので、一晩あれば十分に覚えられる程度だと思います。友達が知らない文字を読めるのはおもしろいと思いますよ。

ロシア語は、なじみがないかもしれませんが、特殊な言葉ではありません。ロシア語は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語と言葉の起源において同じ源（祖先）を持ちます。ロシア語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語とその他の起源を同じくする多くの言葉が属する言葉の

グループをインド・ヨーロッパ語族と呼びますが、このグループに属するヨーロッパからインドまでの広大な範囲で話されている多くの言葉（たとえば、ヒンディー語やペルシア語なども）がロシア語と親戚関係にあるのです。ロシア語と英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語はいとこぐらいの関係です。ロシア語の兄弟はウクライナ語、ポーランド語、チェコ語などです。ロシア語と英語は言葉の上でいとこ同士ですから、ロシア語は英語と多くの類似点を持っています。日本語は英語と言葉の上で親類関係にありませんので、全くと言っていいほど違った言葉ですが、ロシア語は英語と単語、文法等において多くの共通性を示します。したがって、ロシア語を勉強するときには皆さんが既に知っている英語に関する基礎的な知識が多いに役立ちます。しかし、英語と比べて、ロシア語では一つの単語がたくさんの変形を持っています。そのため、ロシア語はしばしば「難しい」言葉の例としてあげられますが、ロシア語の難しさ、ロシア語学習の面倒くささは、もっぱら初級に集中するこの語形変化がほとんど全てだと言っても過言ではありません。例えば、発音は英語に比べると遥かに日本人にとって聞き取りやすいものですし、単語も英語より覚えやすい構造になっています。言い換えればロシア語は最初だけちょっと大変だけど、そこさえ乗り切れば後はそれほど苦労しないで済む言葉なのです。

日露関係は、経済交流を中心にゆっくりではありますが、着実に進んでいて、今後もさらにスピードを上げて進んでいくでしょう。ロシアは日本のすぐそばにあるのですから、今後はロシア語の必要性が増してくると思います。現在はロシア語を使える人は少ないですから、今がチャンスです。小樽はロシアとのつながりが全国的にもとくに深い土地柄です。例えば、小樽港には毎年たくさんのロシア船が入港し、小樽の街を歩けば毎日のよ

うにロシア人の姿を見かけます。毎年ではないですが、よく、ロシアから小樽商科大学に留学生が勉強しに来ています。街角やスーパーなどでも、ロシア語での案内などがあったりもします。覚えられたロシア語を活用するにはとてもいい環境なのです。

ロシアは大きな国でいろいろな民族の人が住んでいます。ヨーロッパ風の顔をした人、日本人のような顔をした人、中東の人のような顔をした人などいろいろな人がロシアに暮らしていて、ロシア語を使えるようになると、いろいろな人と交流することができるようになります。



【授業について】

a) 到達目標

主たる目標は、第一に、日常的な会話で必要となる内容をロシア語で表現することができるようになること、第二に、ロシア語で書かれた文章をある程度のレベルであれば読むことができるようになることです。

b) 1年目の授業について

前期および後期それぞれ週2回授業があります。前期は、最初に、ロシア語の文字、発音についての説明と練習を行います。その後は、名詞、形容詞、動詞の変化などの基本的な文法を中心に、あ

いさつなど会話をする際に必要な表現も学び、それを使った会話の練習なども行います。後期は、週2回の授業のうち的一方は、名詞、形容詞、動詞の変化などの基本的な文法を中心に学びます。週のもう1回の授業は、数を使った表現を中心とした会話に必要な表現などを学びながら、前期の内容も含んだ会話の練習も行います。1年目の授業では、ロシア語を修得するにあたって必要不可欠と考えられる基礎知識を身につけるとともに、ロシア語に慣れることを目指します。外国語の授業は多くの反復練習を行い、慣れることが基本ですので、積極的に授業に参加してください。また、間違いを繰り返すことによって上達するのですから、間違えることを恐れしないでください。わからないことがあったら、いつでもいいので質問してください。

c) 2年目の授業について

2年目になると、AコースとBコースに分かれます。Aコースでは前期および後期それぞれ週2回授業を受けます。一方、Bコースでは、前期にだけ週2回の授業を受ける予定です。Aコースの前期週2回の授業とBコースの週2回の授業の内容は共通で、週2回の授業のうち的一方は、名詞、形容詞、動詞の変化などの基本的な文法を中心に学ぶ予定です。週のもう1回の授業は、インターネット上にある実際のロシア語（たとえば、wikipediaのロシア語版の項目）を読みながら、それに関連する文法や表現を学ぶ予定です。また、会話に必要な表現などを学びながら、これまでの内容も含んだ会話の練習も行う予定です。Aコースの後期は、前期と同じような流れで授業を受けますが、最後の1/3は、復習の反復練習をたくさん行う予定です。

【韓国語？朝鮮語？それとも…】

皆さん、「Korean Language」を日本語で言うと何でしょう。実は「韓国語」の他に、「朝鮮語」や「韓国・朝鮮語」、「ハングル」「コリア語」などの名称も一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。どうしてこんなにも多様な日本語表現が存在するのでしょうか。ヒントは「言語が使用される地域」です。

「Korean Language」は主に朝鮮半島を中心に使用され、大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)では「国家語」、中国の延辺朝鮮族自治州では「準国家語」としての地位を獲得している言語です。他にも日本やロシアなど世界各地に居住する720万の在外コリアンによっても話されており、その使用人口数は約7800万人で世界13位を占めます。また、最近ではK-pop、K-dramaなど韓国の大衆文化に対する関心から韓国語を学ぶ人が増えています。

ここで気になることが一つ。朝鮮半島の北と南、違う言語？同じ言語？北朝鮮と韓国は、朝鮮戦争の勃発(1950年)と休戦協定(1953年)によって分断される前までは同じ国であったため、基本的に同じ言語を使います。語彙や発音、イントネーションなどに「地域方言」程度の違いがあるのみです。さて、では「Korean Language」はどの国の言語で、何と呼べばいいのでしょうか。政治など複雑な利害関係の絡み合いで多様な日本語表現が工夫されていますが、まだ答えの出ない問題です。ここ言語センターでは、韓国出身のネイティブ先生が首都ソウルの言葉を中心に教えているため、「韓国語」という名称を選んでいきます。

【韓国語の文字は？】

韓国語は「ハングル」という独自の文字システムを持っています。まったく新しい文字を覚えなければならぬというハードルがありますが、世界で唯一

それを創った人と頒布日、創製原理が知られている文字であるため、仕組みの原理とルールさえ覚えれば短期間で読み書きができるようになります。

ハングル誕生に関する話をもう少し続けてみます。ハングルが作られるまでは韓国語を表記する文字がなく、貴族を含む知識人層では昔の日本のように漢字を借りて表記をしていました。しかし、一般民衆が漢字を学ぶのは容易ではなく、不当な目に遭うことが多くありました。それを哀れに思った朝鮮王朝の第4代王である「世宗」は、音声学的研究のもと、1443年に誰でも簡単に学んで使える文字「訓民正音」を創りました(「ハングル」という名称は、後に付けられたもの)。その原理と創製の背景などについては「訓民正音慧來本」に記録を残しており、その本はユネスコ世界記録遺産として登録されています。



その記録によると、ハングルの「子音」の文字は、音を出すときの喉や舌、歯茎、歯、唇などを観察し、その形を模して作られました。また、英語とは異なり文字と音が一対一で対応しているため、文字の発音を覚えやすいです。「母音」の文字の場合、空と地と人の形を模して作られました。「○」は丸い空の形を、「—」は平らな大地の形を、「|」は人が立っている姿を模したものです。これらの母音と子音の組み合わせで韓国語は表記されます。ちなみに母音は「ㅏ、ㅑ、ㅓ、ㅕ、ㅗ、ㅛ、ㅜ、ㅠ、ㅡ、ㅣ」の14個、子音は「ㄱ、ㅋ、ㆁ、ㄷ、ㅌ、ㄴ、ㄹ、ㅂ、ㅍ、ㅈ、ㅊ、ㅍ、ㅍ、ㅇ」の10個の文字で表されます。

【韓国語は日本人にとって学びやすい？】

日本語と韓国語は同じアルタイ語族として分類する学者がいるほど、文法や語彙などの面において多くの類似点を持っています。

まず韓国語と日本語は語順がほぼ同じです。さらには、日本語の「てにをは」にあたる助詞の使い方もほぼ一緒です。なので、単語さえ覚えれば、日本語を母語とする人は、直感的に文を作ることができます。

どの国の人よりも韓国語を学ぶのに優位に立っていると言えます。

次に、動詞・形容詞に語尾をつけて文を作るという点も同じです。韓国語は日本語と同じく、語尾が発達した言語です。動詞と形容詞などの語尾を変えて、丁寧形、否定形、過去形、尊敬形などを表現します。

また、語彙の面でも学びやすいポイントがあります。韓国語の語彙は固有語と漢字語と外来語に分けられますが、そのうち漢字語は日本語と共通しているものが多く、発音も日本語の音読みと似ていたりします。「家具」は「カグ」、「都市」は「トシ」、「高速道路」は「コソッドロ」、「市民」は「シミン」…。さらに、韓国では漢字1文字につき、基本的に一つの読み方しかありません。なので、漢字の音を一度覚えれば、あとはもう、その組み合わせで勝手に新しい単語を覚えることもできます。たとえば、「員」「社」「会」という三つの漢字を韓国語ではどう言うか覚えてしまつと、「会社員」や「社会」「会員」「社員」などを表す単語を新たに覚えたわけでもないのに、言ってしまうのです。このように、日本語を母語とする皆さんは、ほかの国の人に比べて圧倒的に早いスピードで語彙を増やすことができます。

【授業の紹介】

韓国語 I には a、b という二つのクラスがあります。履修者は学生番号順にどちらかのクラスに振り分けられていますが、授業内容に大差はありません。両方とも毎週火曜日、木曜日の週 2 回授業があり、二人の教員が曜日ごとに分担し、きめ細かく行き届いた授業をします。授業では、読解、文法、会話のバランスに気を配ります。学習した知識を練習問題で確認し、ペアワークやゲーム活動などのコミュニケーションな応用練習を通して知識の定着に努めます。理解を手助けるために、視聴覚資料(ドラマや K-POP など)を用いることもあります。目標はハングルの短い文を読んで書くことができること、あいさつや自己紹介、買い物、食堂での注文などが韓国語のできるようになることです。

韓国語 II A にも韓国語 I と同じく a、b という二つのクラスがあり、毎週火曜日、木曜日の計 2 コマの授業を二人の教員が分担して指導をします。I と同じく、読解、文法、会話のバランスに気を配った授業を行います。語学の勉強のみならず、韓国文化や韓国事情なども合わせて説明しています。韓国で恐れずに一人歩きできる会話力の習得が目標です。

韓国語 II B は毎週 1 回、火曜日又は木曜日に授業があります。韓国語 II A と同じく文法と会話を同時に勉強します。週 1 回の授業ですが、目標は II A と同じであり、学習内容もそれほど異なっていません。

続く上級外国語 I & III (韓国語) では、韓国語 II A や韓国語 II B の内容を踏まえ、平易な文章から少し複雑な文章まで、徐々に分量を増やしながら韓国語の読解力を養います(TOPIK3 級レベル)。内容に応じて韓国の文化、歴史、習慣、さらに現在の韓国事情に到るまで、多方面から韓国や韓国語を概観します。大学生生活、お国自慢、趣味など、身近なテーマについて韓国語で書けることを目指しています。

最後に上級外国語 II & IV (韓国語) は、今まで学んできた韓国語の総体として、少しレベルアップされた内容となります(TOPIK4 級レベル)。幅広い話題について書かれた雑誌のコラム記事や K-POP の歌詞、ドラマのセリフなどを日本語へ翻訳できることが目標で、身近でわかりやすい実用読解文を多く取り上げたテキストを中心に読解と作文の訓練を行います。

小樽は毎年雪景色に憧れる数多くの韓国人観光客が訪れる都市です。小樽駅に向かう JR の中や小樽市内のあっちこちで習った韓国語を試す機会がたくさんあります。ぜひこの絶好のチャンスを生かし、大学 4 年間韓国語の実力をつけてみてはいかがでしょうか。言葉を知ること、その国自体に対する理解を深めることにも繋がります。「近くて遠い国」が「近くて近い国」となるよう、異文化理解の入口として韓国語を始めみてください。



夜間主

English

コース

英語

近年、オーディオブック、外国語学習アプリ、ポッドキャスト、動画配信・ストリーミングサービス、SNS、オンラインゲーム等の普及により、クリックひとつで国内にいながら気軽に外国語に触れ、コミュニケーションがとれるようになっていきます。同時に、在留・訪日外国人人口が増え、国内で日常や災害時に外国語での支援を必要とする人口が増えています。そのような現代において、もっとも重要な国際語の一つである英語が果たす役割は、非常に大きいといえます。英語を学ぶということは、英語圏の国々の文化や伝統を知ることにとどまらず、国際語としての英語話者(Users of English as a Lingua Franca)として実用的に英語を使う能力を身につけることを意味します。

英語のカリキュラムは、以上のような点を考慮して、英語のコミュニケーション能力を総合的に高められるようクラスが組まれています。また、毎年、短期語学研修生として多くの学生がアメリカやカナダ、オーストラリアなどに留学し、さらには、本学の協定に基づく交換留学生として、英語圏の国々に長期留学する学生もいます。

【授業の紹介】

夜間主コースでは、英語 IA・IB・IC・ID (1年次配当) 計4単位と英語 II A1・II A2・II B1・II B2 (2年次配当) 計4単位が開設されており、全8単位が必修となっています。1年次週2クラス、2年次週2クラス、計8単位を必ず修得しなければなりません。なお、1年次にも2年次にも、標準クラスの他に「基礎クラス」が設けられていますので、自分の英語の力に応じてクラスを選択することができます。

英語の教材は、小説、ドラマ、映画や、言語、環境問題、外国事情、文化などに関する評論・エッセイ、さらに新聞、雑誌等の記事など、非常にバラエティに富んでいます。授業の進め方も、講読形式から、映画を利用したロールプレイやアフレコ、エッセイやジャーナルのライティング、さらにはコンピュータを利用した授業にいたるまで、多様な方法がとられています。授業の評価は、おおむね試験やレポート、プ

レゼンテーションの評点のほか、出席や授業への参加度などを含めて、総合的に判断して行われます。

以上のような授業の中で、実際に使われている英語にできるだけ多くふれ、これまで中学校と高等学校で学んできた基本的な構文を再確認して整理し、語彙力を増強するとともに、リスニング、スピーキングやライティングの力を補強するよう努めていただきたい。さらに、語学は普段の努力が重要で、授業だけではなく、オンラインニュース、外国語放送の映画・ドキュメンタリーなど、TV・ラジオ・インターネット等を活用することも大切です。また、本学には多くのDVDやCD、コンピュータを備えたマルチメディア・ライブラリがあります。授業に加え、これらを利用して自主的に努力を重ね、国際社会の一員として世界の検舞台で活躍しうだけの語学力を身につけることも可能です。

英語にさらに強い興味をもつ学生のためには、英語上級 I・II・III・IV やビジネス英語 I・II などの商学科科目や教職科目(教員免許の資格を取得するための専門科目)が設けられています。これらの科目は、昼間コースの時間帯に開講されますが、夜間主コースの学生でも履修することが可能です。英語系の教職科目は、英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育法に関するもので、これらの科目を所定の単位数(ただし、卒業所要単位には含まれないものもあります)だけ修めることによって、英語教員の道も開けます。(具体的な科目については4頁の表を参照して下さい)。4年間にわたって、英語とあわせてこれらの科目も計画的に履修するとよいでしょう。

なお、商学部商学科には、英語の教員免許取得を主目的とした英語専修のコースが設けられています。商学科英語専修については、『履修の手引き』記載の案内を参照してください。



TO BE OR NOT TO BE

That is the
question.

-WILLIAM SHAKESPEARE

皆さん、入学おめでとう。小樽商科大学での勉学のうち、皆さんにとってまず最も目新しいのは、恐らく英語以外の外国語ではないかと思われます。ここではそのトップバッターとして、ドイツ語の紹介をいたします。

【日本とドイツ、そしてヨーロッパの中でドイツ】

ドイツ語はドイツ・オーストリア・スイス・リヒテンシュタイン、あるいはベルギーやルクセンブルクの一部で使用され、これを母語とする人口は約1億3000万人ですが、北欧・南欧・東欧・ロシアはドイツと緊密な経済・文化関係があるため、ヨーロッパでは英語に準じて広く通用する言語です。

さて日本に目を転じると、遠い国であるドイツの言葉が結構多く日常会話の中で使われているのです。日本語になったドイツ語、どんなものがあるでしょう？ アルバイト、これは身近なドイツ語のナンバーワンですね。他にもゼミナール、リュックサック、メルヘン、ワッペン、ワンダーフォーゲル、カルテ、ガーゼ、ゲレンデ、ヒュッテ、笑えるものではレンペンなんてものもあります。なぜ日本語にとってドイツ語はこれほど身近なのでしょう？

日本とドイツ。実はこの両国の関係は古く、明治時代初期から始まります。(江戸時代後期に日本で活躍したシーボルトは、政治的な理由から自らをオランダ人と称しておりましたが、実はドイツ人でしたので、その関係は更に古くなります。) 成立間もない明治政府は、近代国家形成をドイツ(正確にはベルリンを首都とするプロイセン王国)に学んだ点が多く、近代化に必要な諸学問について、また哲学や芸術の分野においても、当時最先端を走っていたドイツから多くを輸入したのでした。つまり、世界を知り、世界を表現するためには、ドイツ語を少しでもかじっておく必要があったので

す。こうして日本の知識人の先達たちが、ドイツからたくさん言葉を持ち帰ったわけです。

【ドイツ語学習のメリット】

では、現代のわれわれがこのドイツ語を学習する意味とは何なのでしょう。例えば以下のような3点が挙げられるでしょう。

1. 上に述べたように、ドイツは我が国の近代的学問の発展に多大な影響を与えた国です。戦後もまた、ドイツと日本の両国は、経済、科学、政治、文化の分野において互いに重要なパートナーであり、共通の価値観を分かち合ってきました。ドイツ語を学ぶということは、わが国の過去と未来について思考することの大事な一助となるでしょう。

2. ドイツも中核となっているEU(ヨーロッパ連合)の理解にも役立ちます。EUは現在27カ国の加盟国と約5億の人口を擁する大きな政治的・経済的単位であり、今日いかに問題を抱えているとはいえ、EU抜きに世界の政治・経済は語れません。EUの中央銀行が置かれるドイツはリーマン・ショックからもすぐに立ち直り、ヨーロッパでは「ドイツの一人勝ち」と言われるほど強固な経済力を保っています。在職時に「世界で最も影響力のある女性」と呼ばれていたアンゲラ・メルケル前首相の政権は、難民保護政策に関しても注目されました。今後も政治面・経済面でのドイツの立ち位置に世界が注目するでしょう。

3. ドイツは福島原発事故の後、早々と脱原発路線を決定した環境先進国でもあります。未来のエネルギー政策は言うに及ばず、社会福祉、余暇利用、ジェンダー問題などについてドイツから学ぶべき点は多々ありそうです。

【ドイツ語とはどんな言葉？】

学者たちが持ち帰った言葉、ということでドイツ語には堅苦しいイメージありますが、そもそもドイツ語と英語は同じ言語から枝分かれした兄弟関係にあるので、英語を学んだ皆さんにとってドイツ語の文法を理解することはさして難しくないはず。発音は基本的にローマ字読み近く、英語とよく似

た単語でも、発音は英語よりずっと簡単です。例を挙げてみましょう。

- (ド) Sie hat ein Buch. (ズィー ハット アイン ブゥッ)
= (英) She has a book.
(ド) Das ist eine gute Idee. (ダス イスト アイ ゲーテ イデー)
= (英) That is a good idea.
(ド) Es ist kalt hier. (イク イスト カルト ヒア)
= (英) It is cold here.

どうです？簡単そうでしょうか？勿論、実際の文章はこれほど単純なものばかりではなく、色々な語尾変化もありますが、数多くの練習をゆっくりとこなしていけば、恐れるには足りません。

【交換留学について】

夜間主のドイツ語の授業は週2回、1年間のみですが、希望者は昼間コースのドイツ語関連授業を履修することも可能です。それについては本冊子5、6頁を参考にしてください。

また本学では、協定校における半年または1年の交換留学制度が整備されています（バイロイト大学・ウィーン経済大学・ベルリン経済法律大学）。参加者は国際的な環境の中でコミュニケーション能力を磨くことができます。夜間主の学生も意欲的に挑戦してみてください。

さて皆さん、コロナ禍が収まり、ドイツ語も履修したなら、一度ドイツを訪れてみてください。ドイツ全土に点在する美しい古都、落ち着いた大学町、古城をつなぐ街道とライン河、現代都市工学の粋を結集して変貌を遂げた首都ベルリンなど、見るべきものがたくさんあります。また4回のワールドカップ優勝を誇るドイツはサッカー大国。プロサッカーリーグ「ブンデスリーガ」では日本人選手も活躍しています。旅行でも留学でもドイツ語を使って外の世界に出てみましょう。ドイツ語を履修した皆さんに、ヨーロッパの門は大きく開かれることでしょ



ベルリン大聖堂

英単語、3つに1つはフランス語

皆さんが学んできた英語は、ドイツ語やオランダ語と同じゲルマン系の言葉。対するフランス語はラテン系で、イタリア語やスペイン語の仲間。ところが、これらを比べてみると、系統の異なる英語とフランス語が、一番よく似ています。次はいずれも同じ意味なのですが、フランス語はどれでしょう？

- 1) I arrive at the station at six o'clock.
- 2) Ich komme um sechs Uhr am Bahnhof an.
- 3) Ik kom om zes uur aan op het station.
- 4) J'arrive à la station à six heures.
- 5) Arrivo alla stazione alle sei.
- 6) Llego a la estación a las seis.

上から順に、英、独、蘭（オランダ）、仏、伊、西（スペイン）なのですが、皆さんは迷いなく4番を選んだのではないのでしょうか？ 逆に、2番のドイツ語など、同じゲルマン系なのに、全然、英語に似ていませんよね。

実を言うと、英語はフランス語の影響を強く受けた言葉で、1/3の単語はフランス語に由来しています。上の文でも arrive, station, six は言うまでもなく、最後の heure も英語の hour にあたる単語です。

かつてイギリス王はフランス語を話していた

大昔のイギリスでは、古ドイツ語に近いアングロ・サクソン語（古英語）が話されていました。ところが、今から1000年ほど前、フランスのノルマンディ公ギヨームが、英仏海峡を渡ってイギリスを征服しました。この出来事により、フランス人がイギリス王となるとともに、王の話す古フランス語が、英国貴族の間に広まっていきました。

他方、一般庶民にとってフランス語は「外国語」

であり、彼らは昔ながらの古英語を話し続けました。こうして英国では、およそ300年もの間、二つの言葉が併存する状態が続くこととなります。最終的にイギリスは、ジャンヌ・ダルクで有名な100年戦争終結を機に、英語の方を公用語に選びますが、その英語には、フランス語の影響が色濃く残されていたわけです。

これを示す例として、動物名 (sheep, ox, pig) と食肉名 (mutton, beef, pork) の区別がありません。語源的には、前者が本来の英語であるのに対し、後者は古いフランス語の moton, boef, porc から来ているのです。すなわち、苦労して動物を育てる庶民の古英語が動物名として残り、裕福に動物を食する貴族のフランス語が食肉名となったわけです。

だが、やっぱり英語とは異なる。

とはいえ、英語とフランス語は異なるふたつの言語です。例えば、先の「J'arrive à la station à six heures.」ですが、arrive は「アィヴ」ではなく「アィーヴ」と発音します。同じく station は「スタィヨン」、six は「スイ」であって、英語式の発音ではまったく通じません。

また、文法に関しても、フランス語の方が複雑です。例えば、先の文を「あなた」「私達」「彼ら」に代えると、主語だけでなく、動詞のかたちも変える必要があります。

Vous arrivez à la station. (You arrive)
Nous arrivons à la station. (We arrive)
Ils arrivent à la station. (They arrive)

面倒くさいと思いますか？ でも、英語が単純になりすぎた（昔はかなり複雑だった）のであって、皆さんが他の言語を選んだとしても、難しさは変わりありません。とするならば、これまでの英語学習が大いに活かせるフランス語を選んでみてはどうでしょう？

話者数は世界5位、32カ国の公用語

さて、次は日本フランス大使館のHPに紹介さ

れているフランス語のランキングです。

| | |
|-------------|-------------|
| フランス語話者数 | 5位 (3億人) |
| フランス語公用語国数 | 2位 (32カ国) |
| フランス語学習者数 | 2位 (1億3千万人) |
| フランス語の外交力 | 2位 |
| フランス語のビジネス力 | 3位 |
| フランス語のメディア力 | 4位 |

現在、フランス語を話す人は約3億人で、中、英、西、アラビア語に次ぐ、世界で第5位の言葉です。また、フランス語を公用語とする国は32カ国に上り、英語の58カ国には及ばないものの、堂々の第2位となっています。

さらに、米国ルイジアナのようなフランス語通用「地域」も含めれば、その数は約50にも達します。やはり英語(約80)には敵いませんが、第3位のアラビア語(約27)や第4位のスペイン語(約21)に比べ、フランス語の「地理力」は相当なものといえるでしょう。

ヨーロッパ: フランス、ベルギー、スイス、モナコ、他

アフリカ: カメルーン、コートジボワール、セネガル、アルジェリア、チュニジア、モロッコ、他

北・中米: カナダ東部(ケベック)、米国のルイジアナ、ハイチ、アンティル諸島、他

太平洋: ニューカレドニア、仏領ポリネシア、他

アジア: レバノン、シリア、ベトナム、カンボジア、他

・もっとも、このようにフランス語が世界中に広まった裏側には、フランスによる植民地戦争の歴史があるわけですが、これについては授業でお話ししましょう。

「世界で最もパワフルな言葉」第3位

大使館HPのランキングに戻りましょう。昔から得意だった外交は2位、ビジネス分野では3位、メディア言語としての使用度は4位となっています(学習者については、スペイン語の方が多いと統計もあります)。

これらの順位は、世界経済フォーラム(WEF)

の報告書(2016)に基づくものですが、そのWEFは、フランス語を総合的に評価して、「世界で最もパワフルな言葉」の第3位としています(Best 10は、英、中、仏、西、アラビア、露、独、日、ポルトガル、ヒンディー)。

加えて、現在、フランス語話者は明らかな増加傾向にあります。特に人口爆発を起こしているアフリカ諸国では、2014年から2018年のわずか4年間に、フランス語話者が17%も増えました。世界全体でみても10%近い伸びを示しており、今後フランス語は、ますますパワフルになっていくことは間違いありません。

【フランス語の授業について】

「聴き・話し・読み・書く」という4技能の実践練習を通して、フランス語の基礎を学びます。初めて学ぶ言葉なので、始めのうちは間違えるのは当たり前です。授業では堂々と大きな声で間違ってください。

とはいえ、フランス語の規則を自ら意識的に定着させようと努めなければ、いつまでたっても進歩しません。語学は積み重ねなので、間違いつつも基本はしっかり押さえながら、反復練習を通して着実に進んでいくことが肝心です。

さて、夜間主コースのフランス語は1年次しか開講されておらず、もっと学びたい人には不満かも知れません。その場合、昼間コース科目の履修制度を利用して、2年次の「フランス語Ⅱ」や、3、4年次の「外国語上級(フランス語)」の履修を考えてみてください。

そうすれば、文科省後援の「実用フランス語技能検定試験」に挑戦したり、さらには、フランスでの短期語学研修や、協定校のエクス・マルセイユ第三大学での長期交換留学に参加することも可能になります。実際、皆さんの先輩にも、昼間コースでフランス語の学習を続け、フランス語圏に留学した学生もいます。次はあなたの番となることを期待します。

【中国、日本、中国語】

中国は人口 14 億人を超え、国土面積は日本の約 25 倍をもつ隣国です。2010 年に GDP は世界第 2 位となり、圧倒的な経済規模を持つ超大国へと成長しました。そして日本にとって最大の貿易相手国でもあり、数多くの日本企業が中国に工場やオフィスを構えています。日本を訪れる外国人観光客を見ても、中国圏からの旅行者は半数以上を占めています。グローバル化が進み国境の壁が低くなるほど、距離の近さが強い影響力をもつようです。

世界地図を眺めてみればわかるように、中国の国域はヨーロッパに匹敵する広がりをもっています。こうした広大な地域において、膨大な人々の間で共通語として使われているのが、現代中国語です。この現代中国語は、学校教育で用いられ、テレビやビジネスなど公共の場で使われていますので、中国のみならず世界各国に暮らす華僑の間でも広く話されているわけです。

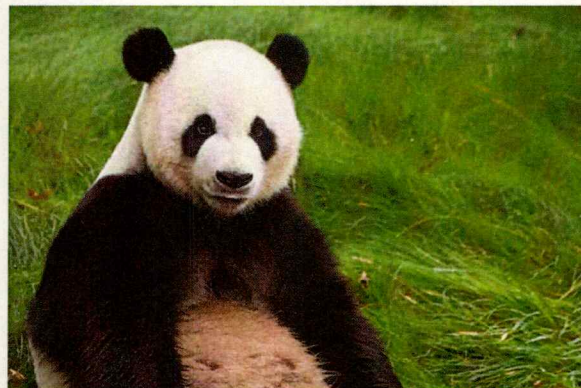
【中国語の学習について】

言語の面では、私たちが用いている漢字はごく一部の文字を除いて、すべて中国語より取り入れたものです。今では意識することさえないかもしれませんが、日本で用いている漢字・漢語の多くは、近代以前の文章語（漢文）に基づいています。一方、現在中国で日常的に話されている現代中国語は、近代以降に言文一致運動を経て生まれた、話し言葉が中心になっています。

中国で使用される漢字は簡略化された「簡体字」で、日本の漢字とは字体の異なるものがあります。たとえば「漢字」の「漢」は“汉”となります。とはいえ簡体字の多くは、字形の近さによって日本語から意味を推測することができますし、発音も日本語の音読みに近いものが少なくありません。ただし、中国語には漢字 1 字ごとに日本語にはないトーン（声調）があり、高低アクセントが付いているという特徴があります。声調は 4 種類あり、同じ音節であっても声調の種類が異なるだけで全く意味の異なる単語になりますから、発音の練習を十分におこなう必要はあります。

しかし中国語学習者にとっては幸運なことに、今日

本はかつてないほど中国語の学習環境が整っています。今や中国系の人々を見かけない日の方が少ないほどですし、本校の留学生も半数以上が中国人です。観光地やアルバイト先、通学の電車で生の中国語を耳にすることも珍しくありません。好むと好まざるとに関わらず、今や中国語は日本で使う必要性のきわめて高い言語であると言えるでしょう。

**【授業の紹介】**

本学の夜間主コースでは中国語 I を 1 クラス開講しています。中国語を履修することとなった学生の皆さんは、このクラスに所属して週 2 回の授業を受けることとなります。授業は中国人と日本人の教員が週 1 回ずつ担当します。ネイティブ教員の授業では耳と口を鍛えてコミュニケーション能力を高め、日本人教員は日本人学習者の苦手な点を適切に指導します。履修単位は前期と後期に分かれています。基本的に全員前期と同じクラスで履修してもらいます。ただし、前期の単位を取得できなかった場合は、他の外国語と同様に後期の履修は認められませんから注意してください。

次に、一般的な授業の内容について紹介しましょう。開講当初は各クラスとも発音の訓練を中心とした授業となります。発音練習の繰り返しは退屈に感じるかも知れませんが、中国語の学習は「発音に始まり発音に終わる」と言われています。特に最初から声調を正しく発音するのは難しいものですが、教員や CD の発音を聞き、口を大きく開けて何度も練習してください。そうすれば必ずきちんと通じる中国語を話せるようになるでしょう。発音ができるようになったら基本文型を学び、会話の練習を行ないます。中国語を用いた教員との応答練習はもちろん、学生同士のペアやグループで練習を行なうこともあります。

このように授業では学生の皆さんが練習することを重視しますから、出来るだけ欠席しないようにしてください。そし

積極的に教室で発音や会話の練習に取り組んでください。また、分からないことや疑問に思うことがあればどんどん質問してください。皆さんの能動的な学習意欲が、上達を早める原動力となるでしょう。

そして中国語Ⅰの履修を終えれば、昼間に開講されている中国語Ⅱを履修することが出来ます。中国語Ⅱでは、中国語Ⅰで習得した基礎をもとに、より実践的な会話力や読解力、聞き取りの能力の向上がはかられます。中国語の多様な表現や、中国語特有の考え方を学び、より深く中国を理解し、中国人と交流できるよう、学習の積み重ねが進められます。

そして皆さんは本学において中国語上級まで履修することが出来るわけですが、この中国語上級では、更に実践的で実用的な中国語能力の習得を目指しています。具体的には中国の人々との高度な会話能力の育成を目標に置き、教員と学生の皆さんとの交流をより密にして授業を進めています。この上級中国語で目指している能力を身に付ければ、中国に長期滞在して仕事や学問を進めていく道が開けることでしょう。

なお、本学は東北财经大学（遼寧・大連市）、蘭州大学（甘肅・蘭州市）と台北商業大学（台湾・台北市）と提携を結んでおり、毎年留学生の派遣や交換を行なっています。また、台中科技大学（台湾・台中市）とも交流があります。本学に留学中の中国人留学生が私たちの授業を手伝ってくれることもあります。皆さんには短期留学と長期留学の制度がありますから、日本の教室内で勉強するだけでなく、海外に飛び出して学生時代にしかできない体験に挑戦してみてください。初めに書いた通り、いま中国は日本に最も「近い」外国です。費用も安いですし、気軽においしいものが食べられます。現地でも会話できるようがんばってください。

このほかに言語センターのマルチメディアライブラリには中国語語学図書（NHK 中国語講座、中国語検定対策ほか）とCD、中国映画・ドラマのDVDなども備えていますから、活用して楽しく勉強してください。

【中国語の使い方】

授業で中国語の学習を始めることができたなら、それを契機として中国語を様々な方法で活用してください。語学は、その言語を勉強することだけが目的ではありません。習得した語学力を駆使して、何かを実現することに意味

があります。仕事に生かすにせよ、旅行をするにせよ、それぞれ違った目標があるはずですよ。単位取得だけが目標の人には、授業は退屈な時間になることでしょう。より充実した時間になるよう、常に目的を考えながら勉強を進めて欲しいと思います。

前に述べたように、いまの日本は中国語との接点にあふれています。課外活動やアルバイトの時に、習った中国語で会話をする学生も今や少なくありません。

このほか、中国語履修者から志願を募り、地域貢献活動も行なっています。これまでに中国語で「小樽観光案内」を作ったり、小樽市立文学館や小樽総合博物館を中国語化するプロジェクトに取り組みました。今後とも教室で学んだ中国語を活用できるよう、教員や中国人留学生と一緒に楽しくチャレンジしてくれる人を待っています。

また、中国語圏では動画が積極的にインターネットで公開されており、映画・MTVはもちろんのこと、テレビになると録画のほかに、生放送でほとんどの番組を見ることができます。こうした絶好の環境を利用し、自分の興味のある分野を見つけて中国語を勉強してください。そして2年間取り組むことになる外国語を、将来に結びつけてもらいたいと思います。中国のことをすべて好きになれと言っているわけではありません。中国でも日本でも好きなところ、嫌いなところがあって当たり前です。身近で文字が似ていても、考え方で近いわけではありません。だからこそ中国語の学習を通じて、中国をより深く理解してもらいたいと思います。なぜなら各民族の考え方は言葉にこそよく表れているからです。



【江南貢院】中国南京市秦淮区の夫子廟地区にある建物。宋朝により建築された科挙の試験場で、最盛期には中国最大の科挙試験場となりました。大きな赤い提灯には、左から順に「探花」（成績三位）、「状元」（首席）、「榜眼」（成績二位）、と書いてあります。



小樽商科大学言語センター

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 (2号館4階)

言語センター事務室 TEL : 0134-27-5280 FAX : 0134-27-5282